

写真 ニュース

発行：埼玉県生活協同組合連合会

埼玉県のマスコット コバトン



三日間、楽しい夏休みを過ごしました。(飯能市 埼玉県立名栗げんきプラザにて)

Top
News

福島の子ども保養プロジェクト 2014コヨットin埼玉を開催

8月18日から三日間、埼玉県生協連と埼玉県ユニセフ協会の共催で、「2014 コヨットin埼玉(福島の子ども保養プロジェクト)」を飯能市の名栗げんきプラザで開催。今年は、福島に住む子供たち22人が夏休みのひと時を元気に過ごしました。

福島の子ども保養プロジェクトは、原発事故後の子どもたちの被ばく積算量を心配する保護者の気持ちに応えようと、福島県生協連などが主催し、2011年からこれまでに全国では累計で6万4,205人の子どもたちや保護者が参加しています。

埼玉でも今回で三回目の取り組みとなりました。



9/20 JA全農さいたまと 埼玉県生協連・協同組合間提携 2014年度「体験稲刈り&田んぼの 生きもの調査」

今年度協同組合間提携企画「体験稲刈り&田んぼの生きもの調査」が9月20日(土)、杉戸町の高野農村センターと隣接するほ場でおこなわれました。当日は、生協組合員など26家族81人が参加し、楽しい一日を過ごしました。



7/27

核兵器のない平和な社会に 250人が参列し第29回埼玉県 原爆死没者慰霊式



広島、長崎の原爆被爆から69年目の夏を迎えた7月27日、埼玉県原爆被害者協議会の主催(後援 埼玉県、さいたま市、さいたま市教育委員会)で、さいたま市南区の別所沼公園で開かれ、被爆者やご遺族、県内の首長、各党議員、実行委員会団体等が参列しました。

9/25

マスコミさいたま支局長会 支局長の皆様と「さいたまの 生協・関連施設見学会」を開催



9月25日(木)、生協と関連施設の見学会に新聞・テレビ主要6社の皆様に参加。今回は、環境と福祉分野をテーマに、コープみらい南浦和店、日本生協連商品検査センター、パルシステム埼玉蕨センター、生協が設立母体の社会福祉法人ばるのデイサービス、特別養護老人ホームなどを視察していただきました。

8/31

第35回首都圏九都県市 合同防災訓練 (埼玉会場)に参加



首都圏九都県市合同防災訓練に位置づけられた埼玉県と草加市による総合防災訓練が8月31日、草加市の綾瀬川左岸広場を中央会場におこなわれました。今回の防災訓練は、5生協の役職員、組合員と県生協連あわせて21人が参加しました。

9/29

埼玉県生協ネットワーク協議会 「埼玉県の生協を知ろう!」を テーマに交流



9月29日(月)5生協24人が参加しました。埼玉県の特徴、生協の事業の様子や、地域社会との関わり、生協の歴史などのクイズを実施。続いて県内生協の活動紹介では、理念やビジョン、具体的に取り組んでいることについて報告しました。県内生協の紹介を受けて、生協は違っても同じだと思えることや、良いねと思うことを交流しました。

*埼玉県生協ネットワーク協議会
県内各地で生協組合員のネットワークを広げていくために、学習、組合員の交流を行い、地域活動促進のためのリーダーを育成すること、消費者の願いを発信することを目的に活動しています。(現在6生協で構成)

広がる県内生協の 多彩な活動

医療生協さいたま

広島県豪雨災害支援に職員を派遣

8月の広島での豪雨災害に対し、医療生協さいたまでは、9月末まで5班14人の職員を派遣しました。全国の医療生協から参加した支援者とともに、被災した組合員宅の土砂撤去、清掃、訪問調査での聞き取りなどを行いました。

組合員訪問では「タクシーが来られず、病院に行けない」と困っている方もいて、被災者に寄り添う継続した支援の必要性を実感しました。

コープみらい

コープみらいカレッジ入学式と 開校記念講演会を開催しました

9月24日、さいたま市文化センターで、コープみらいカレッジ埼玉校入学式ならびに、聖学院大学学長・姜 尚中(カン・サンジュン)さんをお招きし開校記念公開講演会を開催。カレッジ受講生をはじめ組合員など290人が、豊かな地域社会づくりに向けて私たちができることをお聞きしました。

コープみらいカレッジは、豊かな地域社会の実現に向けた学びの場です。50歳以上の組合員を対象に埼玉・千葉・東京でそれぞれ開校し、埼玉校には2つのキャンパスに38人が入学しました。

写真(上) オリエンテーションでは、埼玉校の校長・吉川埼玉県本部長から受講生に向け挨拶しました。
写真(下) 開校記念講演会「未来へつなごう 心の力、支えあう力を」(講師:聖学院大学学長・姜尚中さん)



パルシステム埼玉

“人が集まる”チラシの作り方 講習会を開催しました

パルシステム埼玉では、NPO法人男女共同参画おたの坂田静香さんを講師として迎え、活動組合員と役職員を対象に、“人が集まる”チラシの作り方講習会を開催しました。

坂田さんは、いいチラシを作る前にいい企画があることが大切であると話され、魅力的なタイトルのつけ方や対象者に合わせたPRの方法を指導していただきました。参加者はチラシ作りのワークショップにも積極的に取り組んでいました。



生活クラブ生協

ブロックで「エネルギー学習会」を 開催しています

9月19日(金)、狭山machi企画会議の主催による学習会を狭山市で開催し、30人を超える組合員が参加しました。第一部は、5月におこなった「デンマークロラン島スタディツアー」に参加した組合員2名が報告しました。第二部では、清水 泉理事長を講師に、「つくる、使う、減らす」を柱とした生活クラブのエネルギー政策と、2016年の電力自由化の動きを見据えたグリーン電力供給の取り組み準備、組合員の今後の関わり等、いくつかの視点から意見交換を行いました。



埼玉県労働者共済生協

労済活動の更なる発展にむけて 体験学習を実施

全労済では2017年度までの中期経営政策を策定するなかで、「労済活動の歩みから未来を創る」をテーマとした啓発活動を進めています。“労済活動の歩み”を振り返るなかで、今年度は、大きな節目の年度となります。労済活動の拡大を目指すため、協力団体・組合員の皆さまと一体となり、7月18日から一泊二日で「神戸賀川豊彦記念館」「阪神淡路大震災/人と未来防災センター」「北淡震災記念公園」訪問してきました。



子どものその保育生協

子どものその50周年記念の集い

今年、子どものその保育生活協同組合は50周年を迎えました。9月23日「記念の集い～みんなそのへあそびに行こう～」には、多くの卒園生や新旧の組合員さんが集まり、楽しい一日を過ごしました。それぞれが子どものそのを懐かしみながら、好きな所で好きに遊んでもらおうと、模擬店や園庭の外遊びコーナー、ホールでの人形劇や卒園生の歌のコンサート、思い出の写真館や能登さんのきり絵展示会とお話コーナー、元理事によるけん玉名人芸など盛りだくさんの内容に、これからの50年に向け元気をもらった一日でした。



コープネット事業連合

品質保証研修会に、 お取引先371社参加

食品メーカーなどのお取引先を対象にした「品質保証研修会」を9月24日、さいたま市文化センター(さいたま市南区)で開催し、食品メーカーなどの品質保証部門担当者や工場の製造責任者371社676人に参加いただきました。

この研修会は、コープネットグループの品質保証活動の現状と改善課題を共有化すること、お取引先と共同で学びよりいっそうの協力・協同の関係を構築すること、フードチェーン全体の品質管理レベル向上を目指すことを目的に一昨年より開催しています。

